

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者差別解消・権利擁護推進センターにおいて専門相談員2名が相談に応じ、必要な助言、情報提供等を行った。(H29実績:594件) ・内部障がい者が必要な援助や配慮を受けやすくするヘルプカードを作成・配布するとともに、県民への周知啓発を行った。(2万枚作成)
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児者の高次歯科医療機関の設置に助成し診療が開始された。また、地域の歯科診療所で治療が困難な障がい児者などの患者に対応できるよう、研修会を2回開催し、256人が参加した。 ・障がい者福祉施設の新設等6件に対して助成し、サービス提供基盤の整備を図った。(内グループホーム4件)
	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい児者とその家族が地域で安心して暮らせる在宅生活の実現のため、3つの圏域ごとにモデル市町村を選定し、重症児者に対応できる事業所や人材を育成するための研修を11回開催するなど、体制強化に向けた支援を行った。(研修参加者460人 前年比+219人)
	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック出場が期待される優秀選手の海外遠征経費に対する支援を行ったほか、障がい者スポーツ体験会等を88回実施し、障がい者スポーツの競技力向上と普及啓発を図った。 ・全国障害者芸術・文化祭1年前イベントを実施することで、障がい者アートの魅力を発信し、文化祭開催に向けた機運醸成が図られるとともに、多くの障がい者がアート活動へ参加する契機となった。(展示会観客数:2,288人)

【 . 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> 大分県障害者施策推進協議会 (H29.11) ・ひとり暮らしの障がい者は地域との連携が取りにくい。体調を壊した時など緊急時に孤立していると対応が遅れる。地域、市町村と連携し見守りができる取組が必要だと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大分県障害者施策推進協議会 (H29.11) ・外見上障がいの有無がわからない方についてはヘルプマークがあると助かる。災害時にも、ヘルプマークがあれば一般の方も手助けしやすい。
---	---

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対する相談支援体制の整備・充実を図るため、県立美術館等に遠隔手話通訳サービスを行うタブレット端末を設置し普及を図るほか、H29年度に作成したヘルプカードの周知啓発を図る。また、障がいや障がい者に対する理解の促進と権利擁護の推進を図るため、企業・団体を対象に出前講座を実施する。 ・障がい者の地域生活を支えるための住まいの場の確保や日中活動の場の拡充について、住宅施策などの他の施策と福祉施策との連携を図りながら、大分県障がい福祉計画(第5期)に定める目標値等に基づき計画的に推進する。 ・障がい者の自立した地域生活を支えるため、相談支援従事者を計画的に養成するとともに、従事者の質の向上に努め、相談支援体制の強化を図る。 ・障がい者が共同で生活するグループホームなどの地域の住まいの場の確保と併せ、病院・施設の入院・入所者の地域生活への移行促進を図る。 ・重症心身障がい児者の在宅支援について、モデル市における取組内容を研修会等で全県展開することで、重症児者への支援の必要性を啓発するとともに、自立支援協議会を中心に地域において主体的な問題解決ができるように支援を行う。 ・大分国際車いすマラソン大会や障がい者スポーツ大会の開催などにより競技スポーツの振興を図るとともに、2020年東京パラリンピックを見据え、活躍が期待される選手への支援強化を行う。併せて、障がい者スポーツ体験会等を通じた障がい者スポーツの裾野の拡大を図り、2020年東京パラリンピックに向けた機運醸成を図る。 ・全国障害者芸術・文化祭を開催し、障がい者アートの魅力を発信するとともに、障がい者のアート活動の取組定着を推進することで、芸術文化活動を通じた障がい者への理解の促進と、社会参加・自立の促進を図る。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	障がい者差別解消・権利擁護推進事業	15,630	A	継続・見直し	80
	障がい児者歯科診療体制強化事業	34,480	A	終了	81
②	障がい者福祉施設整備事業	172,050	A	継続・見直し	82
	重症心身障がい児者在宅支援推進事業	5,031	A	継続・見直し	83
	障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業	14,513	A	終了	84
	全国障害者芸術・文化祭開催準備事業	55,160	A	継続・見直し	244